

地球掘削科学共同利用・共同研究拠点の令和2年度共同利用・共同研究成果発表会が、2022年2月28日（月）および3月1日（火）の2日間にわたり、高知大学海洋コア総合研究センターセミナー室ならびにZoomを用いたハイブリッド形式で開催されました。全国から約100名がオンライン会議に登録・参加し、座長および現地聴講者を除く37件の口頭発表者全員がオンラインで発表を行いました。

口頭発表37件のうち、14件は学生によるものでした。学生による活発な研究活動を奨励するため、平成29年度の発表会から「学生優秀発表賞」の審査と実施を行っています。今回も発表会参加者の協力を募って審査を行い、課題選定委員会委員およびセンター専任教員とで審査結果を確認し、1件の発表を最優秀賞、他2件の発表を優秀賞として選出し、センター長名で顕彰することを決定しました。3月1日(火)の全ての講演終了後にオンラインで受賞者の発表と表彰式を行い、受賞者の喜びの表情と声が全国に中継されました。

【学生最優秀発表賞】

隈 隆成（名古屋大学）

「米国グリーンリバー湖成層に記録された始新世前期～中期“温室期”の古環境変動～陸域気候変動と全球気候変動の対比～」

【学生優秀発表賞】

石山陽子（秋田大学）

「秋田県田沢湖堆積物の7000年前から現在までの特徴」

堀 航喜（九州大学）

「水酸化鉄の沈澱プロセスと堆積後の初期続成 – 薩摩硫黄島・長浜湾の例 –」



受賞者の皆さん（左から隈さん、石山さん、堀さん）



地球掘削科学共同利用・共同研究拠点

令和2年度 高知大学 海洋コア総合研究センター
Center for Advanced Marine Core Research

共同利用・共同研究成果発表会



日時：令和3年3月1日（月）10：20～18：00／令和3年3月2日（火）9：30～16：00 会場：高知大学 海洋コア総合研究センター B棟2階セミナー室&オンライン

3月1日（月）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

10:20-10:30 開会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一

地球掘削科学共同利用・共同研究拠点 課題選定委員会委員長 池原 研

10:30-12:00（座長：奥村 知世）

O-01「古原生代後期における有機炭素同位体比の変動：カナダ・ケープスミス帯」元村 健人（九州大学）

O-02「米国グリーンリバー湖成層に記録された始新世前期～中期“温室期”の古環境変動～陸域気候変動と全球気候変動の対比～」隈 隆成（名古屋大学）

O-03「高知県安芸市に分布する更新世穴内層産Amusiopecten praesignis（二枚貝）の殻成長および地球化学分析」川竹 慶（高知大学）

O-04「モンゴル北西部の湖底堆積物から復元する過去3万年間の古環境変動と植生復元」今岡 良介（高知大学）

O-05「サンゴ骨格中の酸素同位体比を用いたロンボク海峡表層の環境復元」源田 亜衣（岡山大学）

11:45-12:00 討論

13:00-14:30（座長：池原 実）

O-06「水酸化鉄の沈澱プロセスと堆積後の初期続成 - 薩摩硫黄島・長浜湾の例 -」堀 航喜（九州大学）

O-07「北西太平洋で採取された海洋底堆積物の堆積プロセスの検討」鈴川 真季（山口大学）

O-08「貝形虫殻を用いた北極海西部における完新世の海洋変動」山田 桂（信州大学）

O-09「海洋における溶存態と粒子態の鉛同位体組成」則末 和宏（新潟大学）

O-10「高知大学学術コアレポジトリ（KU-ABCR）の情報公開・利用について」朝日 博史（高知大学）

14:15-14:30 討論

14:40-16:10（座長：浦本 豪一郎）

O-11「標準試料を用いたXRFコアスキャナー・Itraxの研究室間のデータ比較」天野 敦子（産業技術総合研究所）

O-12「XRFコアスキャナー測定と高密度放射性炭素年代測定による細粒タービダイトの認定」芦 寿一郎（東京大学）

O-13「チリ沖コアを用いたItraxデータの含水率補正と最終氷期の南半球偏西風経路の復元」長谷川 精（高知大学）

O-14「マイクロXRF分析による火山起源イベント層の化学的特徴：福島県猪苗代平野地下ボーリングコア試料の例」長橋 良隆（福島大学）

O-15「房総沖掘削コアC9010Eに介在するテフラ層序研究の進捗と概要」青木 かおり（東京都立大学）

15:55-16:10 討論

16:20-18:00（座長：氏家 由利香）

O-16「KCC保管のJRコア全てのCTスキャンに向けた準備研究」藤内 智士（高知大学）

O-17「亀裂評価方法確立への挑戦」高橋 美紀（産業技術総合研究所）

O-18「北海道東部、釧路市春採湖で採取した二本の堆積物コアの高解像度解析」中西 利典（ふじのくに地球環境史ミュージアム）

O-19「南極サウスシェットランド海溝における堆積作用」山口 飛鳥（東京大学）

O-20「ヒゲクジラ類の神経系・感覚器の進化」松井 久美子（九州大学）

O-21「高知県物部川支流に生息するアマゴ集団の遺伝的多様性」関 伸吾（高知大学）

17:50-18:00 討論

3月2日（火）

※発表題目および発表者（所属）のみ記載

9:30-10:40（座長：朝日 博史）

O-22「竜串層に含まれる球状鉄コンクリーションの成因～火星の球状物体との類似性～」浅井 沙紀（高知大学）

O-23「初期続成過程における玄能石コンクリーションの形成プロセス」村宮 悠介（深田地質研究所／名古屋大学）

O-24「古津波遡上範囲推定に向けた泥質津波堆積物認定手法の開発」中西 諒（東京大学）

O-25「秋田県田沢湖堆積物の7000年前から現在までの特徴」石山 陽子（秋田大学）

10:30-10:40 討論

10:50-12:20（座長：山本 裕二）

O-26「南海トラフ堆積物コアに記録された過去4万年間の古地磁気永年変動」後藤 滝弥（東京大学）

O-27「Paleomagnetism of a sediment core taken from the Ontong-Java Plateau: for better understanding of the role of biogenic magnetite in geomagnetic paleointensity recording」Jiaxi Li (The University of Tokyo)

O-28「堆積物形成初期に磁性細菌Magnetospirillum magnetotacticum MS-1が獲得する残留磁化の性質 - 無機起源の磁性粒子を加えた系についての検討 -」政岡 浩平（九州大学）

O-29「紀伊半島に分布する田辺層群（中新世堆積物）のU-Pb年代と古地磁気」星 博幸（愛知教育大学）

O-30「発掘土器片を用いた岩石磁気学 - 「考古岩石磁気学」の確立に向けて -」畠山 唯達（岡山理科大学）

12:05-12:20 討論

13:20-14:30（座長：安 鉉善）

O-31「復元試料を用いた考古地磁気強度実験の妥当性の検討」北原 優（岡山理科大学）

O-32「長崎県大村湾の海底表層堆積物の磁気特性」石川 尚人（富山大学）

O-33「南海トラフ東海沖セグメントの地震発生間隔：周期的にタービダイトを含むコアの古地磁気永年変化による年代モデル構築」金松 敏也（海洋研究開発機構）

O-34「中国レスの詳細なMatuyama-Brunhes地磁気逆転記録」兵頭 政幸（神戸大学）

14:20-14:30 討論

14:40-15:50（座長：山本 裕二）

O-35「ICDP DSeis（南アフリカ金鉱山地震発生場掘削）計画 - 変質したMafic貫入岩体の地震発生場での役割と太古代のHypersaline brine -」小笠原 宏（立命館大学）

O-36「沖縄トラフ東伊是名熱水域掘削コアから得られた重晶石の年代測定」石橋 純一郎（九州大学）

O-37「北西太平洋プテスポット火山岩中の地球深部物質 - プテスポット産火山岩中の下部地殻・マントル・アセノスフェア由来物質の探索 -」石井 輝秋（静岡大学）

15:25-15:50 討論

15:50-16:00 学生優秀発表賞表彰・閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫



令和2年度 高知大学海洋コア総合研究センター

共同利用・共同研究成果発表会

プログラム

3月1日(月)

10:20-10:30 開会挨拶

- 高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一
- 地球掘削科学共同利用・共同研究拠点 課題選定委員会委員長 池原 研

10:30-12:00 (座長：奥村 知世)

- O-01 10:30-10:45 「後期古原生代の海洋酸化還元状態の変動：カナダ・ケープスミス帯」
元村 健人, 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 佐野 貴司 (国立科学博物館)
田中 健太郎, 三木 翼, 佐野 有司 (東京大学)
- O-02 10:45-11:00 「米国グリーンリバー湖成層に記録された始新世前期～中期“温室期”の古環境変動
～陸域気候変動と全球気候変動の対比～」
隈 隆成 (名古屋大学), 長谷川 精, 大島 有希子, 石川 航輝 (高知大学)
- O-03 11:00-11:15 「高知県安芸市に分布する更新世穴内層産 *Amussiopecten praesignis* (二枚貝) の
殻成長および地球化学分析」
川竹 慶, 近藤 康生, 西尾 嘉朗, 長谷川 精 (高知大学)
- O-04 11:15-11:30 「モンゴル北西部の湖底堆積物から復元する過去3万年間の古環境変動と植生復元」
今岡 良介, 長谷川 精 (高知大学), 勝田 長貴 (岐阜大学), 志知 幸治 (森林総合研究所)
Ichinnorov N. (モンゴル古生物研究所), 村山 雅史, 岩井 雅夫 (高知大学)
- O-05 11:30-11:45 「サンゴ骨格中の酸素同位体比を用いたロンボク海峡表層の環境復元」
源田 亜衣 (岡山大学), Ali Arman (インドネシア原子力庁), 井上 麻夕里 (岡山大学)
- 11:45-12:00 討論

13:00-14:30 (座長：池原 実)

- O-06 13:00-13:15 「水酸化鉄の沈澱プロセスと堆積後の初期続成 —薩摩硫黄島・長浜湾の例—」
堀 航喜, 清川 昌一 (九州大学)
- O-07 13:15-13:30 「北西太平洋で採取された海洋底堆積物の堆積プロセスの検討」
鈴川 真季, 中島 茄鈴, 川村 喜一郎 (山口大学)
- O-08 13:30-13:45 「貝形虫殻を用いた北極海西部における完新世の海洋変動」
山口 滉介, 山田 桂 (信州大学), 内田 昌男 (国立環境研究所)
- O-09 13:45-14:00 「海洋における溶存態と粒子態の鉛同位体組成」
則末 和宏, 浅沼 大地, 深澤 徹 (新潟大学), 小畑 元, 蒲生 俊敬 (東京大学)
岡村 慶 (高知大学), 永石 一弥 (マリノワーク・ジャパン), 石川 剛志 (海洋研究開発機構)
- O-10 14:00-14:15 「高知大学学術コアレポジトリ (KU-ABCR) の情報公開・利用について」
朝日 博史, 池原 実, 岡林 徹, 松崎 琢也, 徳山 英一 (高知大学)
- 14:15-14:30 討論

14:40-16:10 (座長：浦本 豪一郎)

- O-11 14:40-14:55 「標準試料を用いた XRF コアスキャナー・Itrax の研究室間のデータ比較」
天野 敦子 (産業技術総合研究所), 黄 致展 (University of Innsbruck)
池原 研 (産業技術総合研究所), 村山 雅史, 松崎 琢也 (高知大学)
- O-12 14:55-15:10 「XRF コアスキャナー測定と高密度放射性炭素年代測定による細粒タービダイトの認定」
芦 寿一郎 (東京大学), 中澤 文華 (日本 TCS), 大村 亜希子 (筑波大学)
- O-13 15:10-15:25 「チリ沖コアを用いた Itrax データの含水率補正と最終氷期の南半球偏西風経路の復元」
長谷川 精, 長屋 英結 (高知大学), 長島 佳菜 (海洋研究開発機構)
勝田 長貴 (岐阜大学), 村山 雅史 (高知大学), 原田 尚美 (海洋研究開発機構)
- O-14 15:25-15:40 「マイクロ XRF 分析による火山起源イベント層の化学的特徴：福島県猪苗代平野地下ボーリングコア試料の例」
長橋 良隆 (福島大学), 片岡 香子 (新潟大学)

- O-15 15:40-15:55 「房総沖掘削コア C9010E に介在するテフラ層序研究の進捗と概要」
青木 かおり (東京都立大学), 小林 淳 (東京都立大学, 静岡県富士山世界遺産センター)
村田 昌則 (東京都立大学), 高橋 尚志 (東京都立大学, 東北大学)
石村 大輔 (東京都立大学), 西澤 文勝 (東京都立大学, 神奈川県立生命の星・地球博物館)
鈴木 毅彦 (東京都立大学)

15:55-16:10 討論

16:20-18:00 (座長 : 氏家 由利香)

- O-16 16:20-16:35 「KCC 保管の JR コア全ての CT スキャンに向けた準備研究」
木下 正高 (東京大学), 久保 雄介 (海洋研究開発機構), 藤内 智士 (高知大学)
岡崎 啓史 (海洋研究開発機構)
- O-17 16:35-16:50 「亀裂評価方法確立への挑戦」
北村 真奈美, 高橋 美紀 (産業技術総合研究所), 岩崎 夏波, 上原 真一 (東邦大学)
- O-18 16:50-17:05 「北海道東部、釧路市春採湖で採取した二本の堆積物コアの高解像度解析」
中西 利典 (ふじのくに地球環境史ミュージアム), 酒井 恵祐 (神戸大学)
小田 啓邦 (産業技術総合研究所), 香月 興太 (島根大学), 山田 圭太郎 (立命館大学)
山口 龍彦 (国立科学博物館), 近藤 康生 (高知大学), ホン ワン (KIGAM)
重野 聖之 (明治コンサルタント), 七山 太 (産業技術総合研究所/熊本大学)
- O-19 17:05-17:20 「南極サウスシェットランド海溝における堆積作用」
山口 飛鳥, 山本 一平, 大熊 祐一 (東京大学), 加藤 広大, 加藤 悠爾 (高知大学)
高下 裕章 (産業技術総合研究所), 奥田 花也, 箱守 貴 (東京大学), 池原 実 (高知大学)
- O-20 17:20-17:35 「ヒゲクジラ類の神経系・感覚器の進化」
松井 久美子 (九州大学)
- O-21 17:35-17:50 「高知県物部川支流に生息するアマゴ集団の遺伝的多様性」
関 伸吾, 秋成 澤 (高知大学)

17:50-18:00 討論

3月2日(火)

9:30-10:40 (座長: 朝日 博史)

- O-22 09:30-09:45 「竜串層に含まれる球状鉄コンクリーションの成因 ～火星の球状物体との類似性～」
浅井 沙紀, 長谷川 精 (高知大学), 吉田 英一 (名古屋大学), 池原 実 (高知大学)
勝田 長貴 (岐阜大学), 奈良 正和, 友直 由衣 (高知大学), 今井 悟 (土佐清水ジオパーク
推進協議会)
- O-23 09:45-10:00 「初期続成過程における玄能石コンクリーションの形成プロセス」
村宮 悠介 (深田地質研究所/名古屋大学)
- O-24 10:00-10:15 「古津波遡上範囲推定に向けた泥質津波堆積物認定手法の開発」
中西 諒, 芦 寿一郎 (東京大学)
- O-25 10:15-10:30 「秋田県田沢湖堆積物の 7000 年前から現在までの特徴」
石山 陽子, 石山 大三, 石黒 卓哉 (秋田大学)
- 10:30-10:40 討論

10:50-12:20 (座長: 山本 裕二)

- O-26 10:50-11:05 「南海トラフ堆積物コアに記録された過去 4 万年間の古地磁気永年変動」
後藤 滝弥, 山崎 俊嗣 (東京大学), 奥津 なつみ (海洋研究開発機構), 芦 寿一郎 (東京大学)
- O-27 11:05-11:20 「Paleomagnetism of a sediment core taken from the Ontong-Java Plateau: for better understanding of the role of biogenic magnetite in geomagnetic paleointensity recording」
Jiaxi Li, Toshitsugu Yamazaki (The University of Tokyo), Takuya Sagawa (Kanazawa University), Junichiro Kuroda (The University of Tokyo), Usui Yoichi (JAMSTEC)
- O-28 11:20-11:35 「堆積物形成初期に磁性細菌 *Magnetospirillum magnetotacticum* MS-1 が獲得する残留磁化の性質 – 無機起源の磁性粒子を加えた系についての検討 –」
政岡 浩平 (九州大学), 諸野 祐樹, 富岡 尚敬 (海洋研究開発機構)
浦本 豪一郎, 山本 裕二 (高知大学), 大野 正夫 (九州大学)
- O-29 11:35-11:50 「紀伊半島に分布する田辺層群 (中新世堆積物) の U-Pb 年代と古地磁気」
星 博幸 (愛知教育大学), 岩野 英樹, 檀原 徹 (京都フィッション・トラック)
- O-30 11:50-12:05 「発掘土器片を用いた岩石磁気学 – 「考古岩石磁気学」の確立に向けて –」
皇山 唯達, 八木 千亜希, 白石 純 (岡山理科大学)
- 12:05-12:20 討論

13:20-14:30 (座長：安 鉉善)

- O-31 13:20-13:35 「復元窯試料を用いた考古地磁気強度実験の妥当性の検討」
北原 優, 畠山 唯達 (岡山理科大学), 山本 裕二 (高知大学)
- O-32 13:35-13:50 「長崎県大村湾の海底表層堆積物の磁気特性」
石川 尚人 (富山大学), 横尾 頼子 (同志社大学), 松岡 数充 (長崎大学)
- O-33 13:50-14:05 「南海トラフ東海沖セグメントの地震発生間隔：周期的にタービダイトを含むコアの古地磁気永年変化による年代モデル構築」
金松 敏也, Hsiung Kan-His (海洋研究開発機構), 山本 裕二 (高知大学)
山崎 俊嗣 (東京大学)
- O-34 14:05-14:20 「中国レスの詳細な Matuyama-Brunhes 地磁気逆転記録」
兵頭 政幸, 番匠 健太 (神戸大学), Yang TS (中国地質大学), 加藤 茂弘 (兵庫県立人と自然博物館), Shi M (中国地質大学), 安田 裕紀 (北海道大学), 福田 惇一, 三木 雅子 (神戸大学), Bradák B (Burgos 大学)
- 14:20-14:30 討論

14:40-15:50 (座長：山本 裕二)

- O-35 14:40-14:55 「ICDP DSeis (南アフリカ金鉱山地震発生場掘削) 計画
－ 変質した Mafic 貫入岩体の地震発生場での役割と太古代の Hypersaline brine ー」
小笠原 宏 (立命館大学), ICDP DSeis チーム
- O-36 14:55-15:10 「沖縄トラフ東伊是名熱水域掘削コアから得られた重晶石の年代測定」
石橋 純一郎, 板谷 優志, 塚本 成 (九州大学), 豊田 新, 富田 麻紀子 (岡山理科大学)
藤原 泰誠 (蒜山地質年代学研究所), 新城 竜一 (琉球大学), 新井 和乃 (高知大学)
- O-37 15:10-15:25 「北西太平洋プチスポット火山岩中の地球深部物質
ー プチスポット産火山岩中の下部地殻・マントル・アセノスフェア由来物質の探索ー」
石井 輝秋 (静岡大学), 金子 誠 (深田地質研究所), 平野 直人 (東北大学)
町田 嗣樹 (千葉工業大学), 秋澤 紀克 (東京大学), 松崎 琢也 (高知大学)
- 15:25-15:50 総合討論

15:50-16:00

学生優秀発表賞表彰・閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫

* 共同利用・共同研究は、国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の協力を得て実施されています。